



2025～26 年度
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ

Weekly Report Niigata



2025～26 年度
新潟ロータリークラブ会長

佐藤 邦栄

新潟 RC 6 月第 5 例会 (2026.6.30) No.3608

(1) ロータリーソング「手に手つないで」斉唱

(2) 会長の時間（佐藤 邦栄会長）

1 年間、クラブ会長を務めさせていただき、最後の会長の時間となります。本年度は、「クラブを活性化し、地域にインパクトを ~手を取りあっていこう~」という会長メッセージを掲げ、本年度の様々な事業や改革に取り組んでまいりました。

クラブを活性化するために最重点課題として掲げた会員増強は、期初会員 74 名から純増+10%以上の期末会員 84 名を数値目標として掲げました。結果として期末会員は 75 名となり、目標数値には届かず「未達」ととなりましたが、6 月の転勤に伴う退会 5 名に関しては既に後任の申込を受領しており、さらに宇尾野さんのご尽力で 7 月より新規入会 1 名が決定するなど、次年度に向けたポジティブな動きが進んでいます。流れを作っていた、会員増強委員会の皆様に感謝を申し上げます。次年度早々には、81 名となりますので、次年度の目標 89 名に向けて、会員増強を加速していただきたいと思います。

次に、委員会を活性化するために、従来の 3 委員会を統合・合併し、1 委員会あたり 4 名以上で構成する体制へと再編しました。委員会内で議論をしながら、地域にインパクトを与える事業を遂行いただけたと感じております。

次に、ウェブサイトの全面刷新と活動発信を数値目標の 4 として掲げました。クラブのタイムリーな活動発信を行うことで、認知度向上と将来的な会員増強につなげる仕組みを構築できたと感じております。新潟クラブの沿革ということで、これまでの歩みを写真付きで紹介するページも作り、さらに充実させていきたいと考えております。活動報告ということで、クラブで実施・参加した事業を取り上げています。会員企業 27 社にご協力いただき、会員企業のリンク集ということでもまとめました。新潟クラブにどのような会員が在籍しているのかは、新入会員にとって気になるところでありますので、

さらに多くの会員企業にご賛同いただき、会員企業のリンク集を充実していきたいと考えております。

次に、数値目標の 5 として、地区大会への出席 目標 20 名を掲げ、27 名に出席いただき、目標を大きく上回る成果を収めました。

次に、数値目標の 2 として、ロータリー財団年次基金への寄付は、目標 1 人あたり 150 ドルに対し、実績は 1 人あたり 74.35 ドルにとどまり、未達でした。

次に、数値目標の 3 として、ポリオプラス基金への寄付は、目標 1 人あたり 30 ドルに対し、実績は 1 人あたり 23.89 ドルであり、未達でした。

次に、数値目標の 6 として、米山奨学金への寄付は、目標 1 人あたり 2 万円に対し、実績は 1 人あたり 16,702 円となり、未達でした。

次に、青少年育成基金への寄付は、目標の 1 人 4,000 円に対し、実績は 1 人 6,756 円となり目標を達成しました。最初に贈呈先として決定した、新潟明訓高校吹奏楽部を含め、3 団体に基金の贈呈を行うことができました。その他、会員の皆様の協力もあり、クラブ会費と一緒に寄附を納入できる仕組みも整備し、一定の成果を上げました。寄附に携わっていただいた委員会の皆様に感謝申し上げます。

その他の委員会事業においても、実りのある 1 年になったと感じております。SAA の皆様には、年度を通じて安定的に職務を遂行いただきました。特に、7RC 合同例会の際、クラブの集合写真に写るよりも、最後の 1 人までのお見送りを優先され、会場監督たる強い責任感に感銘を受けました。

広報・会報・雑誌委員会の皆様には、パワーポイントや AI を駆使したロータリーの友の紹介など、新しいことに挑戦いただきながら、ホームページの監修もお手伝いいただきました。

出席・ニコニコ BOX 委員会の皆様には、2 委員会の統合の中でオペレーションを確立いただき、効率よく委員会を運営いただきました。

プログラム委員会の皆様には、ロータリーの月間テーマに基づく卓話者の設定をいただいたことで、会長の時間と話題をリンクすることができました。

親睦委員会の皆様には、例会会場の変更を快く受け入れていただき運営にあたっていただきました。また、7RC 野球大会・7RC 合同例会の主催という大きな行事を成功裡に導いていただきました。委員長の転勤というピンチを大委員長・両副委員長を始め委員会のチームワークで乗り切っていただきました。

職業奉仕委員会の皆様には、最先端の職場見学をセッティングいただきながら、ロータリーのルーツを感じることのできる、職場見学を企画・実行いただきました。

社会奉仕委員会の皆様には、68年間、新潟RCが大切に守ってきたロータリー保育園の継続支援を行っていただきました。

国際奉仕委員会の皆様には、ミャンマーの医療支援を行っていただきながら、地区補助金の制度改正に伴う、新規事業の計画立案にあたってくださいました。

ローターアクト委員会の皆様には、ローターアクト地区代表の全面サポートとローターアクト地区大会の全面協力を行っていただき、他のクラブから大変高い評価をいただくことができました。

インターアクト委員会の皆様には、新潟明訓インターアクトクラブ60周年を機に、未来に繋がる、関係の大幅改善を行っていただきました。

それ以外にも、理事・役員の皆様には、理事会を通じて、貴重なご意見を多数いただき、寄り添い、支えていただきました。感謝申し上げます。

そして、敦井監査役・本間監査役、おまけで小山さんには、色々と相談をさせていただきながら、守るべきは守る、変えるべきは変えることについて、多くの助言をいただき、頼れるベテラン会員の想いを錦の御旗として使わせていただきました。スムーズな運営ができた最大の要因であると感謝しております。

そして、高杉幹事と事務局の皆様には、思い付きのアイデアも含め、たくさんの仕事していただきました。無事に完走できたのは、高杉幹事と事務局の皆様の献身的なサポートに尽きると心より感謝しております。

目標に届かなかった部分については真摯に受け止めつつも、ホームページの刷新や委員会の統合、地区行事・青少年育成への積極的な貢献など、クラブの活性化と地域へのインパクトという面で確かな足跡を残す

ことができた1年になったのではないかと自負しております。

そして、私自身、ロータリーを最も学び、最も体感した貴重な1年であったと振り返っています。豊富な知識と経験とスキルを兼ね備えた、多様なキャリアを持つ会員の集合体である新潟クラブ、そのクラブを動かせる会長職は、ダイナミズム溢れる、とても楽しい経験となりました。若手会員の皆様には、絶対に会長職を経験して欲しいと願っております。

結びに、支えてくださった会員の皆様に感謝申し上げるとともに、新潟RCがさらに居心地の良いクラブとなり、発展することを願って、最後の会長の時間とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

(3) ゲストのご紹介

ご 家 族 石本 陽子さん 石橋 モユ子さん

高橋 歩さん、佐藤 里美さん

佐藤 彩芽さん、佐藤 彩月さん

米山奨学生 王 煜伝さん、

新潟ローターアクトクラブ副会長 小柴 伊織さん

(4) ニコニコボックス紹介（江越誠副委員長）

・敦井 栄一君 本日の例会に出席させていただいております弊社社員の小柴伊織が次年度、新潟ローターアクトクラブの会長を務めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願い致します。

(5) 佐藤 邦栄会長より坂井賢一次期会長へ 襟章バトンタッチ

(6) 6月30日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
75	75	54	72.00%

7月7日の例会プログラム 「事業計画の発表」

新潟ロータリークラブホームページアドレス
<http://www.niigatarc.jp/>

納 会 懇 親 会 次 第

- 18:00 開会 司会 大杉 一宏親睦委員
18:03 乾杯ご挨拶 坂井賢一次年度会長
歓談
18:30 「JUKEBOX」演奏 15分
歓談
19:30 「JUKEBOX」演奏
19:40 ロータリーソング「手に手つないで」斉唱「JUKEBOX」演奏
佐藤邦栄会長、高杉直希幹事へ記念品と花束贈呈
(プレゼンター：次年度会長幹事)
20:00 中締め 高杉直希幹事

